

新しい カタチの葛飾区史 平成29年3月刊行予定

皆さんの思い出を教えてください！



立石から
青戸公園を望む
(昭和33年)



四ツ木駅ガード下
(昭和10年)

亀有駅(昭和25年)



新小岩駅南口
(昭和24年)



高砂橋際より
上流方向を望む
(昭和12年)

葛飾区では、区制施行80周年を契機に、区の歴史を振り返り、貴重な資料を保存して後世に引き継いでいくため、新しい「葛飾区史」づくりに取り組んでいます。

この区史は、「**区民の皆様とともに作る葛飾区史**」として、皆さんからお聴きした、昔の暮らしの様子やご提供いただいた写真などを基に、身近に感じていただける区史をめざします。

【担当課】 総務課 ☎ 5654-8444



「葛飾区史」
(昭和60年刊行)

求む!! 懐かしい時代の写真

昭和の葛飾区の様子に関する写真(写した年代と場所が分かるもの)を探しています。

「車道と歩道の区別がなかった道路」「路地で遊ぶ子どもたちの姿」「建ち並ぶ木造家屋」など、何気ない写真の一コマがさまざまな当時の様子を物語る、貴重な情報となります。

写真の提供方法など、詳しくはお問い合わせください。

四ツ木駅より浜江小学校への
道筋(昭和29年)



昭和29年当時は交通量が

少なかったため、道路で遊ぶ子どもたちが

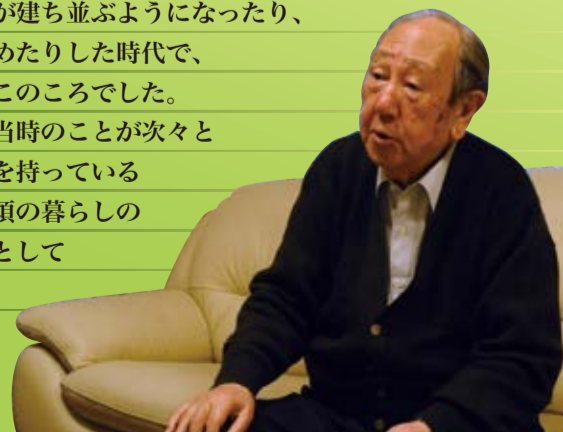
たくさん見られました。道路脇には、自治会で定期的にすくい

上げた側溝のヘドロがよく積んであったものです。

カスリーン台風(昭和22年)をはじめ、度重なる水害を経て、平屋は少なくなり、二階屋が建ち並ぶようになり、商店街がにぎわいを見せ始めたりした時代で、私が堀切に店を出したのもこのころでした。

たった1枚の写真から、当時のことが次々と思い出されます。昔の記憶を持っている方々にお話を聴いて、あの頃の暮らしの一コマ一コマを、区の歴史として刻んでほしいですね。

葛飾区自治町会連合会
会長 あきやま せいいち 秋山 精一さん



平成26年6月から順次開催

ご参加ください!! 昭和の葛飾を伺う会

区内19カ所で、皆さんが経験してきた昭和の記憶をお伺いする会を開催します。昔の遊びや食べ物、街の様子などについて、この機会にお聴かせください。

昭和の写真展 ~ 葛飾の風景 ~

区内10カ所で、懐かしい風景や地域の今昔を写真で紹介します。日時・会場など、詳しくは広報かつしか、区ホームページでお知らせします。

